
青空町 2 丁目バス停前 。

輝沙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青空町2丁目バス停前。

【Nコード】

N4274F

【作者名】

輝沙

【あらすじ】

普通の女子高校生では決して無い主人公《梨子》。遅刻キングと先生から呼ばれる少女だ。いつものように家の玄関で転倒。学校では不思議系転校生やら毒舌の親友やバーコード吉田による虐待。そんなある時、梨子の運命は変わってしまった。“あの歌”を耳にしまったから…。そんな高校生。梨子の冒険？学園？物語！！

第1話【ベタな始まり方で悪いか！】（前書き）

荒らしはせめてアホなこー！

第1話【へ々な始まり方で悪いか!】

いつものように平和な朝をむかえる青空町。

通学路では蒼井高校へ向かう高校生たちが歩いていきます。

大体みんなが学校へ着いた頃、一人の女子高校生である少女の朝が来ます。

部屋一面に大きな音をたててドアが開く。

「梨子おー！遅刻するって言うてんでしょ!?!」

爽やかな朝と言いたいが、あたしの朝は母の顔ドアップから始まる。

「あと12時間…」

寝ぼけながら呟く。

「学校終わってるでしょーがっ!」

もちろんその後には母のチョップが飛んで来る。

「んもー…怒りすぎたら小ジワ増えるよ…」

そしてこの後、あたしにもう一度チョップがきたのは言うまでも無い。

1Fのリビングでは…

「お父さん、またお母さんと姉ちゃんが騒いでるよ」「
ショートカットを揺らしながら妹の律子（13）が制服を着ながら
ため息をつく。

「いつもの事だ。ほっときなさい」
最近、薄れてきた髪を気にする無口な父（48）はコーヒーを片手
に平然と答える。

「近所迷惑だよ。はあ…行って来ませう」
律子はそう言うと、少し熱いトーストを手に家を出た。

2F

母と戦ってから5分。
あたしはしぶしぶ階段を降りる。

「おはよ、お父さん。あれ？律子は？」
「学校に行ったぞ」

ふうんと言ってテーブルに座る。

「梨子お！あんたって子は…！さっさと準備しなさい！」
無言で制服に着替える。

「え、朝ごはん無し？」
テーブルに座っていたあたしをイスからあたしを無理やり降ろした
母。

「早く行きな！準備してんの！？」

舌打ちをして階段を上がる。

「あー…準備してない」

自分の荒れた机から教科書をいつものように発掘。

「行って来ます」

「お弁当！行ってらっしゃい！」

玄関からでて3秒。

いつものように転倒します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4274f/>

青空町2丁目バス停前。

2010年10月9日22時47分発行